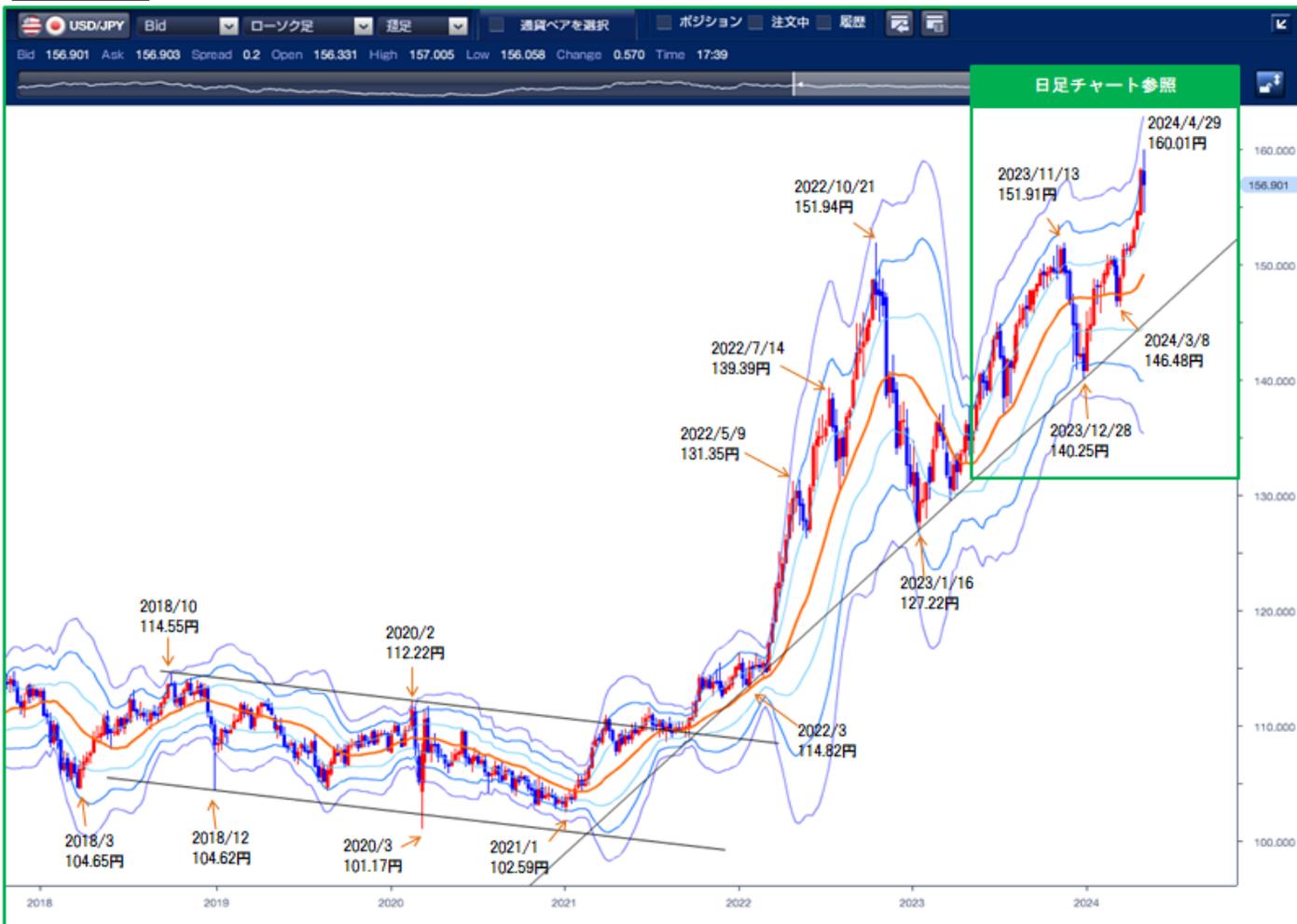


週足



長期概況

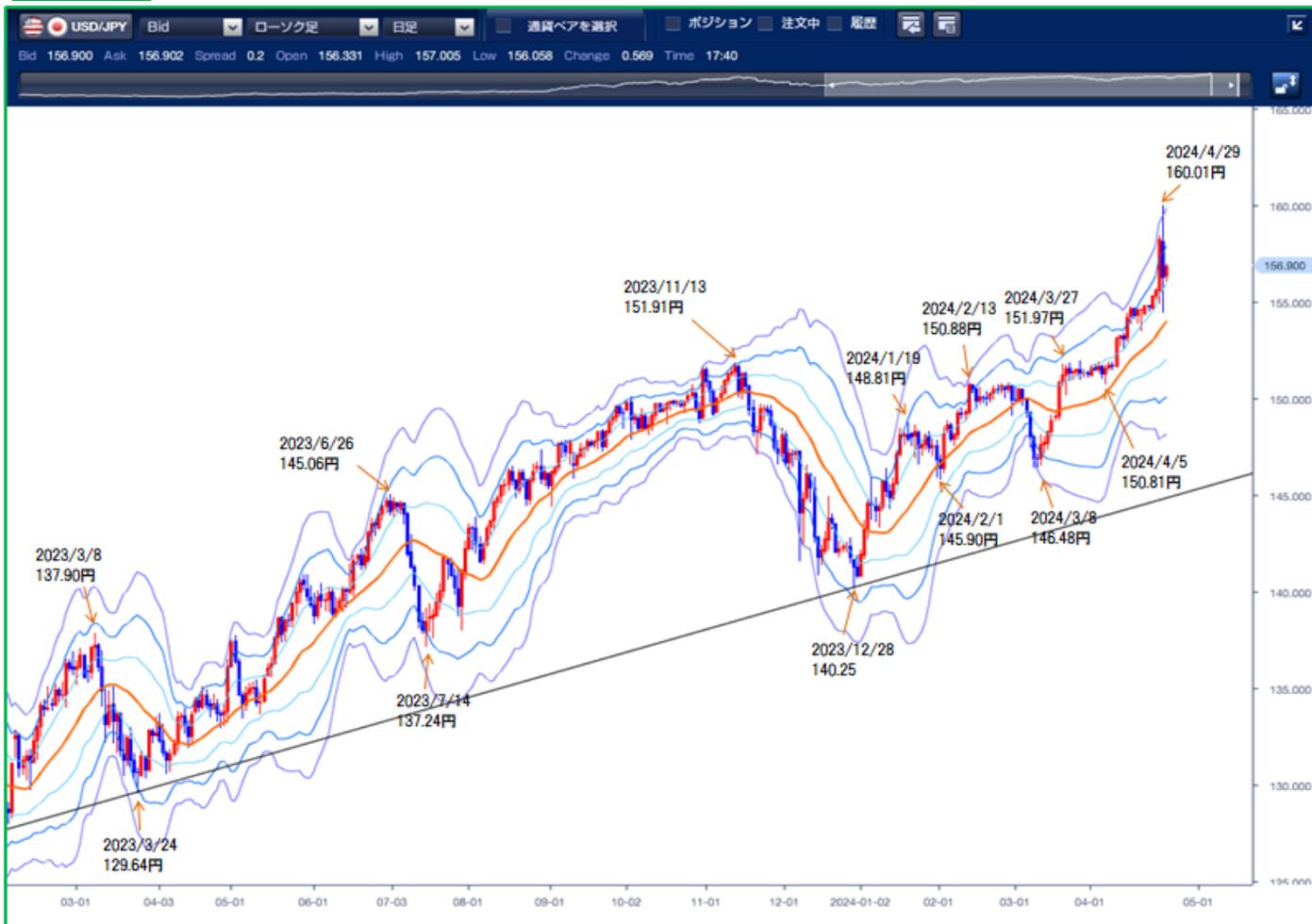
2021/1/6の安値102.59円を起点とした上昇トレンドは、2022年3月のFOMC会合における利上げ開始後、上昇ペースを早め、151.94円(2022/10/21)まで上昇しました。その後、米インフレ率の鈍化を理由に127.22円(1/16)まで下落しましたが、日米金利差を背景に、再び151.91円(11/13)まで値を戻しました。2023年末にかけて日銀による金融政策変更観測やFRBの利下げの思惑により140.25円まで下落したものの、3月日銀会合で17年ぶりとなる利上げが決定されたものの、緩和政策は維持されると見方から緩和政策は維持されると見方からドル買い円売りが優勢となり、そのドル買いの流れは継続し、4月には1990年以来の高値となる160.01円まで上昇しました。

【2024/4/22~4/26】

今週のドル円は154.42円(4/22安値)から始まり、介入ラインとされた155円の大台を意識した値動きが続きましたが、米早期利下げ観測の後退や、日銀の低金利政策は当面続くと見方から、日米金利差を意識したドル買い円売りが優勢となり、4/24に155円の大台を突破しました。その後も大きく崩れることは無く、4/26の日銀会合では、市場予想通り追加利上げの見送りが決定。植田日銀総裁は会見で、当面緩和的な金融環境が続くと考えを示唆したことで日米金利差が意識されドル買い円売りが先行。また、植田日銀総裁は「基調的な物価に対して円安は今のところ大きな影響出ていない」と発言すると、円安容認と捉えた市場は円売りが加速。週末にかけて158.43円まで上値を追う展開となりました。

このレポートは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであって、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資方針や投資時期等の最終決定は、お客様ご自身の判断と責任で行ってください。また、このレポートは信頼できるとされる各種データに基づき情報を提供しておりますが、正確性、妥当性等を保証するものではなく、この情報により発生したいかなる損害についても当社は一切の責任を負いかねます。なお、このレポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがあります。

日足



今週の戦略

日足ボリンジャーバンドは、中心線が上向きとなっており、上昇を示唆しています。
 週足ボリンジャーバンドは、中心線が上向きで、上昇を示唆しています。
 以上のことから、4/29~5/3の週間予想レンジは以下の通りです。

◆ 予想レンジ 155.00円~160.00円

注目レート		テクニカル
上値②	160.00	・大台 ・4/29高値近辺(160.01)
上値①	157.90	・4/29高値160.01から4/29安値154.52のフィボナッチ50.0%戻し
下値①	156.00	・大台
下値②	155.00	・大台 ・4/26安値近辺(154.97)

このレポートは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであって、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資方針や投資時期等の最終決定は、お客様ご自身の判断と責任で行ってください。また、このレポートは信頼できるとされる各種データに基づき情報を提供しておりますが、正確性、妥当性等を保証するものではなく、この情報により発生したいかなる損害についても当社は一切の責任を負いかねます。なお、このレポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがあります。